

FENCING

男子エペ団体戦優勝

37年ぶり6回目



優勝決定後、笑顔でポーズを決める選手たち(左から：三口3尉、山田2曹、坂本2曹、伊藤2曹)

第70回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)

自衛隊体育学校黄金期到来!

フェンシング界に名声を博す

12月15日、福井県越前市AW-Iスポーツアリーナで第70回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)が行われた。全国各地から予選を勝ち抜いた24コチームが参加し、自衛隊体育学校近代五種班が、男子エペ団体戦で37年ぶり6回目の優勝を飾った。

本団体戦は、1試合3名編成による、1名3分間の9試合リレー方式で、45本先取したチームが勝ち上がるトーナメント方式。1回戦から3回戦まで順当に駒を進めた自衛隊体育学校チームは、準決勝で昨年度優勝の法政大学を、45-29で撃破し決勝進出を決めた。

迎えた決勝の相手は、香川クラブ。昨年度準優勝の早稲田大学を破った強豪チームである。試合は、全日本フェンシング選手権大会(個人戦)男子エペ覇者の山田2曹(本年度採用の体育特殊技能者)VS頭脳派で試合巧者の前田選手から始まった。両者一步も譲らない互角の戦いを繰り広げ、4対4で同期入隊の伊藤2曹につなぐと、対する水口選手の動きを冷静にとらえ見事な突きを決めた伊藤が、9対7の2本差をつけて試合を有利に進めた。続いて、全日本フェンシング選手権(個人戦)男子エペ優勝3回を誇るチームの大黒柱・坂本2曹VS出水選手の戦い。坂本の繊細で切れのある剣が相手に突き刺さり、試合の流れを完全に自衛隊体育学校に引き寄せ15対10で前半戦3試合を終えた。中盤戦、エース山田の豪快な剣が炸裂し、相手を全く寄せ付けない試合展開で



相手に隙を与えない伊藤2曹(写真右)

リードを広げると、終盤でもフェンシングナショナルチームのメンバーとして世界で活躍する3名全員がその実力を大いに発揮。最終戦は、山田が相手の反撃を的確に阻止し、躍動感あふれる鋭い剣を立て続けに決め、45-28の圧倒的な強さで優勝の栄冠を手にした。

自衛隊体育学校が誇る精鋭剣士たち



三口 智也 (Miguchi Tomoya)

階級：3等陸尉 出身地：和歌山県

出身校：和歌山北高校

競技歴：2016 リオ五輪近代五種第22位

第57回近代五種全日本選手権男子個人第3位



坂本 圭右 (Sakamoto Keisuke)

階級：2等陸曹 出身地：茨城県

出身校：中央大学

競技歴：第69回全日本フェンシング男子エペ第3位

2017 フェンシングW杯(スイス)男子エペ第8位



伊藤 心 (Ito Inochi)

階級：2等陸曹 出身地：秋田県

出身校：中央大学

競技歴：第67回全日本フェンシング男子エペ第2位

2017 フェンシングW杯(フランス)男子エペ団体銅メダル



山田 優 (Yamada Masaru)

階級：2等陸曹 出身地：三重県

出身校：日本大学

競技歴：第70回全日本フェンシング男子エペ優勝

2017 ユニバーシアード(中華民国・台北)銅メダル